

⑩福光打越線

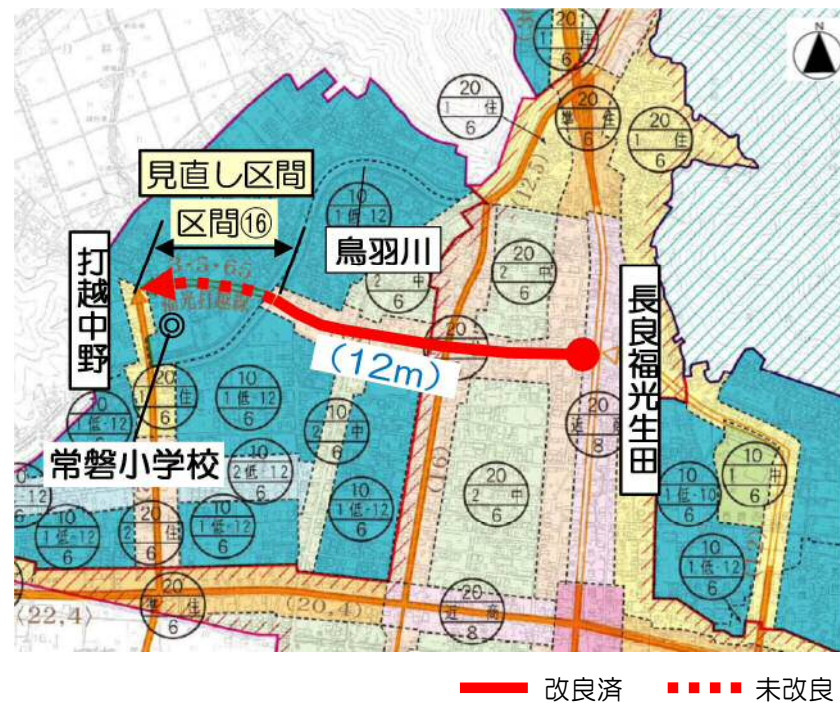
路線の概要

現在の計画

- 福光打越線は、昭和42年の岐阜市内の都市計画道路網の見直しを機に、北部市街地の東西方向の幹線街路として決定されました。
- 現在、長良福光生田～打越中野を起終点とし、計画延長1,230m、標準幅員12mの幹線街路として都市計画決定しています。

整備状況

- 【鳥羽川より東】
 - 改良済
- 【鳥羽川より西】
 - 未改良で現道があります。



見直しの理由・内容

路線の主な役割・機能

- 岐阜市北部市街地の東西方向の補助幹線街路として、地域内の幹線道路を連絡する機能が求められていましたが、周辺の交通状況の変化により交通需要が減少し、当路線は地域内の生活道路としての役割が主になったと考えられ、ネットワークとしては改良済の鳥羽川以東の区間のみでも生活道路としての役割は果たせると考えられます。

見直しの理由 廃止

交通機能の変化

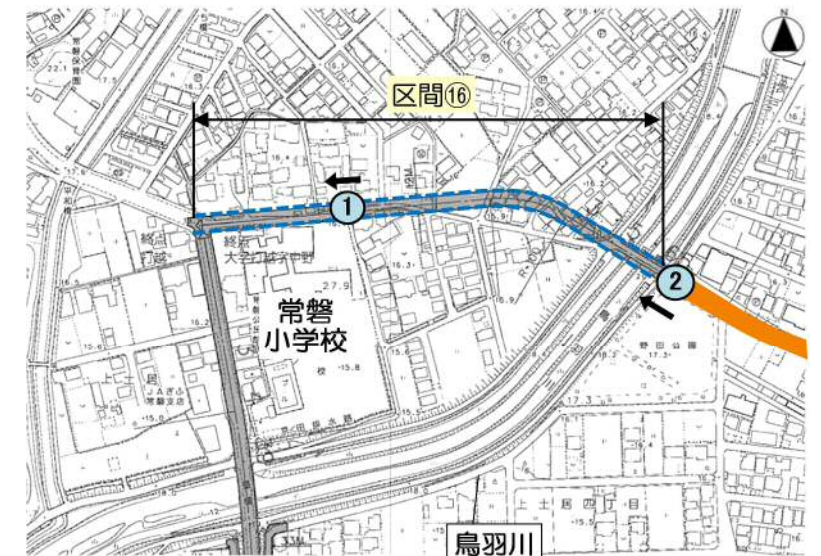
- 当初の計画決定から長期間が経過し、周辺の交通状況が変化したことにより、区域内の道路の機能は、現道で十分と考えられるため、**幹線道路レベルでの整備の必要性が低下**したと考えられます。
- 将来交通量予測によると、当区間を廃止しても、周辺道路への影響はほとんどなく、**現況のネットワークでも対応が可能**であると考えられます。

現道の状況

- 現道は幅員3～6mで、沿道は集落的な住宅が主の市街地で、一部農地も見られます。



- 終点部付近の南側には常磐小学校が立地しています。



- 現道の鳥羽川の橋梁部(京田橋)。

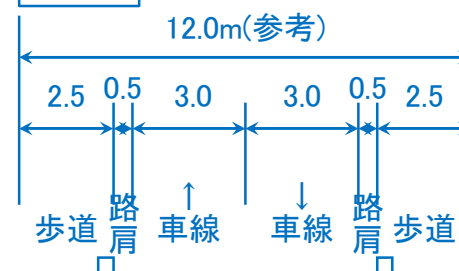
都市計画変更(案)の内容

【3・5・65 福光打越線】

- 鳥羽川橋梁(京田橋)から打越中野までの延長約370mの区間は、計画幅員12m・2車線から「計画の廃止」と考えます。

道路断面図(参考)

現計画



計画の廃止

都市計画変更(案)平面図

